

はじめに

念願の映画同人誌「シネマ游人^{ゆうと}」を発行する運びとなりました。まずは寄稿していただいた方々にお礼申し上げます。

「映画とは全部妄想なんだが、人生を丸ごと写してくれる素晴らしいツールである」と、生前の黒木和雄は語っています。

私たちは一旦暗闇の世界に入れば、スクリーン上で、様々な人生を体験することができます。そして、それを自分の生きざまに重ね合わせるとか、あるいは反面教師として見たりして、個人個人のページに付け加えていくものだと思います。

しかし、その映像は時間が経つにつれ薄れ、遠のいていくものです。そういった意味で、その記憶を活字に残し、分かち合っていくことは意味のあることだと考えます。

県内に多くの文芸に関する同人誌が存在しますが、映画に関しては見当たりません。今後幅広く仲間を募り、四日市発信の硬軟併せ持つ面白い映画同人誌として定着できればと考えています。

とまれ、まずは、創刊号をご覧ください。その上で、映画に関することであれば何でも結構です。多くの人たちのご意見や投稿を歓迎します。

